


令和2年度一般会計当初予算のポイント

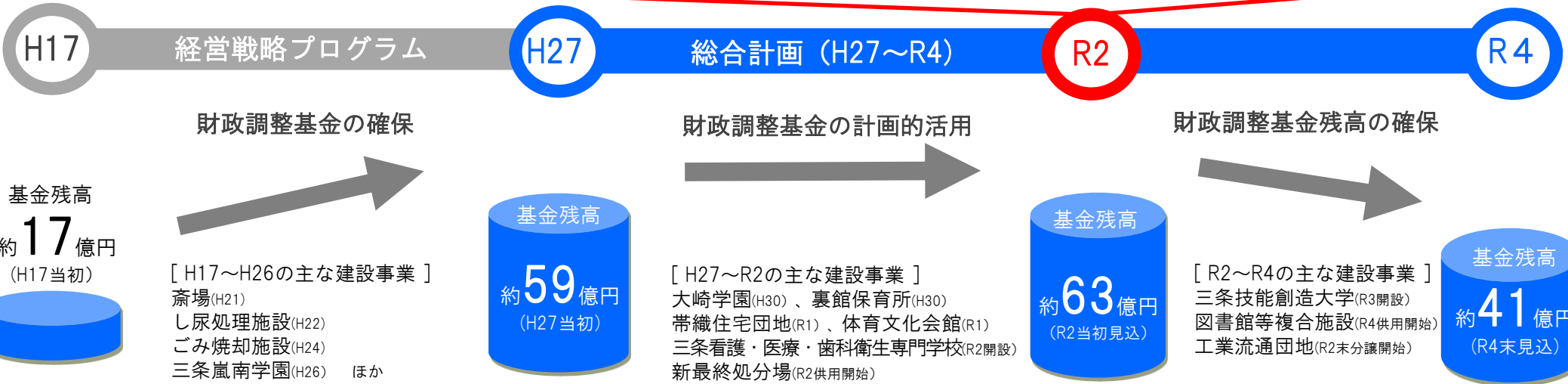
少子高齢化、人口減少社会に対応した力強いまちづくり予算 **515.55** 億円
 (前年度当初予算比 △14億8,300万円 △2.8%)

【主な減要因】 体育文化会館、新最終処分場、医療系高等教育機関等の整備事業に伴う投資的経費

人口動態の改善

少子高齢化、人口減少社会への対応

1	2	3	4	5	6
若年層の転出抑制 60.7億円	若年層の転入促進 9.7億円	自然動態改善への挑戦 47.4億円	住みたい、住み続けたい まちづくり147.3億円	地域における暮らしの 場の維持 19.3億円	社会インフラに関する 価値観の転換 16.1億円
- 三条技能創造大学の整備 ほか 	- 下田地域の魅力を生かした ブランドイメージの確立 - 工場の祭典の発展 (年間を通じて見学できる 工場の増加など) - 市内企業への就職促進 (実践的なインターンシッ プと三条おしごとナビに よる発信) ほか	- 大崎地区子育て支援セン ターの整備 - 新たな児童クラブの開設 - 未就学児と就学児の遊び 場の確保 ほか	- ICTを活用した教育方法の 研究、実践 - コミュニティスクール の全学園への導入 - ジャパン・ハウスサン パウロでの企画展の開催 - 免許返納者へのおでかけ パス無料交付 ほか - 大面川氾濫対策 ほか	- 図書館等複合施設の整備 - 市道大島164号線の整備 - 造園業の新たなビジネス モデルの創出 - 保内地区の新たな観光導 線の創出 - 工業流通団地の整備、分 譲 ほか	- 総合運動公園の整備 - 大崎山公園の刷新 - 栄地域への包括的維持管 理業務委託の導入に向け た調査、準備 ほか

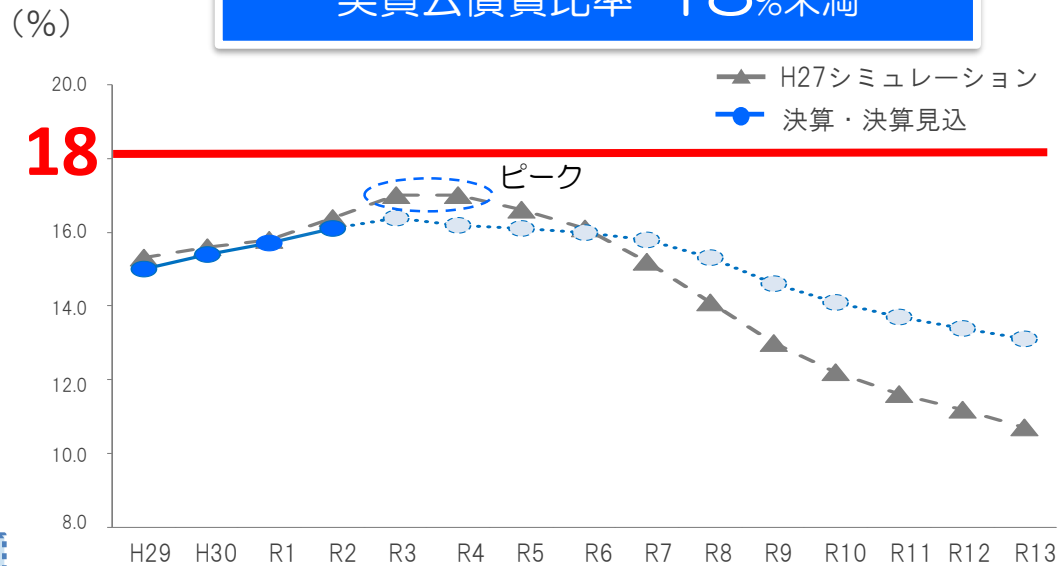
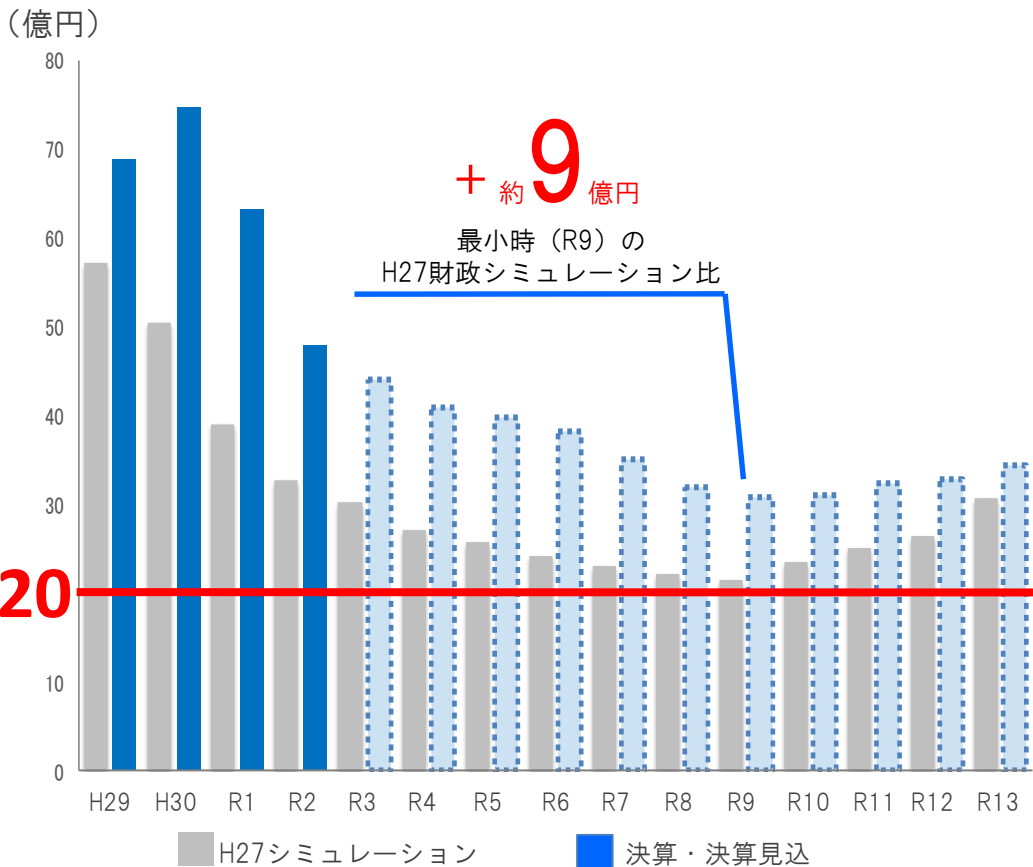


財政指標の推移（決算・決算見込と財政シミュレーションの比較）

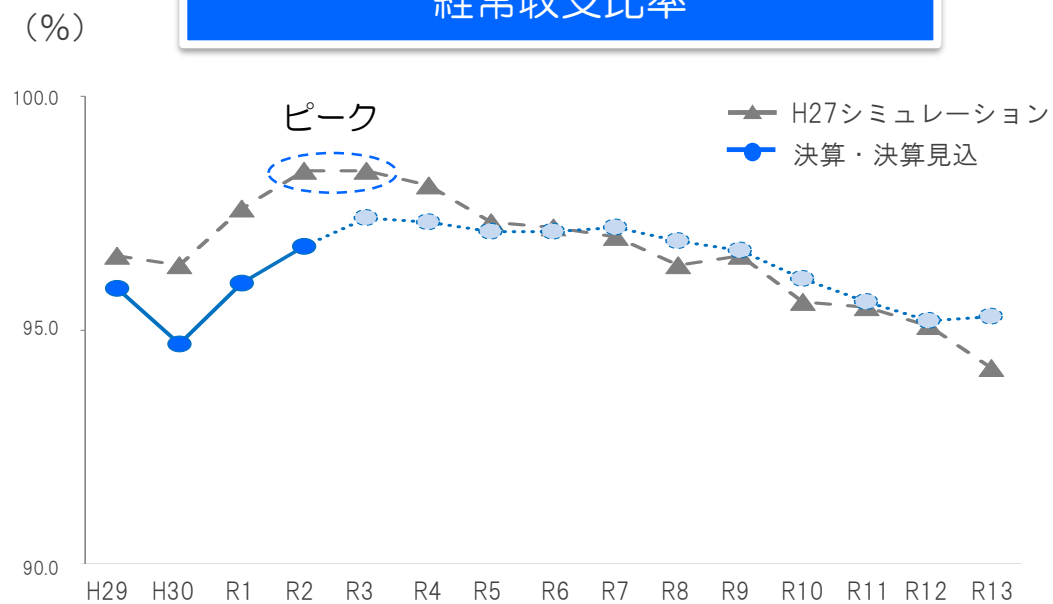
|| 健全財政を維持し続けるための財政規律 ||

財政調整基金残高 **20** 億円以上確保

実質公債費比率 **18%**未済



経常収支比率



【参考】 財政指標の推移（決算・決算見込）

項目	H29	H30	R1 (決算見込)	R2 (決算見込)
経常収支比率	95.9%	94.7%	96.0%	96.8%
実質公債費比率	15.0%	15.4%	15.7%	16.1%
財政調整基金残高	69億円	75億円	63億円	48億円